

# 茨城県景気ウォッチャー調査結果 (平成21年3月調査分)

## 調査の目的

- ・ 経済の第一線で働いている人々から、景気に関する生の情報を得ます。
- ・ その景気に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに、迅速に公表します。
- ・ 県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気判断の基礎資料となります。

## 調査の概要

- ・ 調査客体数…県内各地域（県北，県央，鹿行，県南，県西）ごとに60名，計300名です。
- ・ 調査内容…景気の現状，先行き判断とその判断理由を質問します。
- ・ 調査時期…四半期（6，9，12，3月）ごとに実施し，翌月公表します。

## 結果の概要 (回答率 94.7%)

景気現状判断DI	景気先行き判断DI	※DI (Diffusion Index)
県全体 18.5 (-3.8)	県全体 28.2 (+8.5)	景気動向を判断するために使用される指標の一つであり、景気の方向性（景気が上向きか下向きか）をみるもので、50が横這いを表しています。茨城県景気ウォッチャー調査では、回答を区分ごとに点数であらわし、その点数を回答構成比（%）で乗じてDIを算出しています。
県北地域 16.2 (-7.5)	県北地域 24.6 (+9.3)	
県央地域 20.1 (-3.6)	県央地域 25.9 (+7.7)	
鹿行地域 14.0 (-6.3)	鹿行地域 28.1 (+7.0)	
県南地域 23.2 (-1.0)	県南地域 30.5 (+5.9)	
県西地域 19.1 (-0.3)	県西地域 31.8 (+12.4)	
※（ ）は前回調査（平成20年12月）との比較をしたものです。		

- 3か月前と比較した景気の現状判断DIは，前期（12月調査）比3.8ポイント低下して18.5となり，横這いを表す50を7期連続で下回りました。平成14年12月の調査開始以来の最低値を2期連続で更新しました。

〈主な判断理由〉
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不況の業種を対象にした全国緊急融資保証制度への関心が高く，申込みも多い。また，駅前のデパートや駅構内の店舗が撤退したため，商店街等，駅周辺への客足がますます遠のいている様子であり，多くの顧客で，前年の同時期と比べて，売上げが減少している。（金融業）</li> <li>・ 受注高について，3か月前と比較すると44%の減少となり，また，前年の同時期と比較すると46%強の減少となった。このため，週2日の一斉休業の実施に加え，1人当たりひと月に6日程度の休職日を設定し，ワークシェアリングを実施中である。（製造業〔非鉄金属〕）</li> <li>・ 求人数が急激に減少してきている。今年3月卒業の生徒のうち，入社早々の4月から3か月の自宅待機となってしまった者もいる。（学校就業関係者）</li> <li>・ 雇用保険受給資格決定の件数は，50%以上増加している。（公共職業安定所）</li> </ul>

- 3か月前の景気の先行き判断DIは，前期（12月調査）比8.5ポイント上昇し28.2となったものの，横這いを表す50を6期連続で下回りました。

〈主な判断理由〉
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎年，5月から6月に旅行企画の申し込みのある顧客の多くから「今年の旅行は見合わせる」というケースが顕著に出てきている。（旅行代理店）</li> <li>・ 利用者は実体経済の更なる悪化が見込まれることに不安感を抱いており，そのことが利用者の「遊び」に対する周囲への遠慮感を増大させ，当施設の利用回数は更に減少すると思う。（レジャー施設）</li> <li>・ 幅広い業種の企業で業績が大幅に悪化しており，その回復時期については，先行きが不透明であるため，予想ができない。当所が「雇用調整助成金」（国が企業に従業員の休業手当を助成する制度）について説明を行った事業所の数は，3か月前の5倍以上となっており，また，問い合わせも多い。（公共職業安定所）</li> </ul>

## 地域別の動向

地域別の現状及び先行き判断DIは、全ての地域で横這いを表す50を下回りました。

### 1 県北地域

- (1) 現状判断：景気の現状判断DIは16.2となりました。前期比7.5ポイント低下し、横這いを表す50を8期連続で下回りました。

〈主な判断理由〉

- ・ 来場客を見ると、当施設の売店や食堂を利用する客よりも、コンビニエンスストアで弁当等を購入して来たり、家庭で弁当を作って持参する客が増加しており、当施設内でお金を落としてもらえなくなっている。(レジャー施設)

- (2) 先行き判断：景気の先行き判断DIは24.6となりました。前期比9.3ポイント上昇したものの、横這いを表す50を6期連続で下回りました。

〈主な判断理由〉

- ・ 地元の工場は週休3日が当たり前で、ひどいところでは週2日の操業であり、ほとんど生産が止まっているような状態となっており、4月以降の見通しは立っていないという。(ガソリンスタンド)
- ・ 新年度となる4月になれば、3月よりも生産計画はあるため、多少は回復の兆しは見られるものの、厳しい状況のまま推移することには変わりはない。また、大企業において、外注せずに自社内で製造する内作化が進んでいるため、中小企業の状況は更に厳しいものとなることが予想される。(製造業〔電気機械器具〕)

### 2 県央地域

- (1) 現状判断：景気の現状判断DIは20.1となりました。前期比3.6ポイント低下し、横這いを表す50を7期連続で下回りました。

〈主な判断理由〉

- ・ 販売台数について、前年の同時期と比較すると、40%近く減少となっている。(自動車販売店)
- ・ 3月2日現在で3か月前と比較すると、かなり悪くなっている。取引先の企業・工場では金・土・日・月と休業しているところもあり、どうにもならない状況が現実となっている。(製造業〔一般機械器具〕)

- (2) 先行き判断：景気の先行き判断DIは25.9となりました。前期比7.7ポイント上昇したものの、横這いを表す50を7期連続で下回りました。

〈主な判断理由〉

- ・ ツアーを企画する観光会社も安価であることを武器として集客していることから、食事も当店で最も安価な1,050円の団体食が多く出る。人件費やその他の経費を考えると、これから先も大変だ。(ドライブイン)
- ・ 1月、2月ほどではないが、引き続き今の悪い状況が続くと思われる。特に販売の現場では、消費者が購入しなくなったことを実感している。消費者は、購入金額を抑えたり、次の購入までの期間を長くする等しており、このような買い控えの傾向はしばらく続くと思う。(サービス業〔コンサルタント業〕)

### 3 鹿行地域

- (1) 現状判断：景気の現状判断DIは14.0となりました。前期比6.3ポイント低下し、横這いを表す50を6期連続で下回りました。平成14年12月の調査開始以来、最も低い値です。

〈主な判断理由〉

- ・ 目的地到着手前で料金メーターがカチッと上がると、機嫌が悪くなり「不愉快だ」と怒り出す客が最近増加しており、タクシー代を切り詰めている様子がうかがえる。(タクシー運転手)
- ・ 鹿島コンビナート内の企業は全般的に極端な景気悪化のどん底にある。全国的な消費の低迷や円高等の状況の中で、原料・素材産業の基地であるコンビナートの打撃は非常に深刻であり、雇用面に影響を及ぼしている。(人材派遣業)

## ■調査から

- (2) **先行き判断**：景気の先行き判断DIは**28.1**となりました。前期比7.0ポイント上昇したものの、**横這い**を表す50を6期連続で下回りました。

〈主な判断理由〉

- ・ 客数はやや伸びているが、1人当たり単価が低いので、全体的に伸びている傾向にあるとはいえない。(衣料品販売店)
- ・ ゴールデンウィーク前後までは話題機種の登場が予定されているので、安定した集客が見込めるが、それが過ぎれば、機械購入費の反動が出てくると思う。業界全体で落ち込むことが予想される。(パチンコ店)

### 4 県南地域

- (1) **現状判断**：景気の現状判断DIは**23.2**となりました。前期比1.0ポイント低下し、**横這い**を表す50を6期連続で下回りましたが、**現状判断DIは全地域を通じて最高**となりました。

〈主な判断理由〉

- ・ 顧客の中には、カットは娘に、毛染めは嫁にやってもらっている人もいる。(理・美容店)
- ・ 離職者に対する再就職相談件数が増加している一方で、求人件数の減少が続いている。また、正社員であっても、勤務日数が削減(例えば3勤4休)され、アルバイトを探しに来所する人が多い。(雇用相談員)

- (2) **先行き判断**：景気の先行き判断DIは**30.5**となりました。前期比5.9ポイント上昇したものの、**横這い**を表す50を6期連続で下回りました。

〈主な判断理由〉

- ・ 3か月先までの予約状況が悪い。「大型のコンペは開催するのが難しい」との声が多い。(ゴルフ場)
- ・ 各企業からは設備投資の話題すら聞こえてこない。例えば、壁が破れていても、ガムテープを貼って応急処置をしておくというような状況である。(建設業)

### 5 県西地域

- (1) **現状判断**：景気の現状判断DIは**19.1**となりました。前期比0.3ポイント低下し、**横這い**を表す50を7期連続で下回りました。これは平成14年12月の調査開始以来、最も低い値です。

〈主な判断理由〉

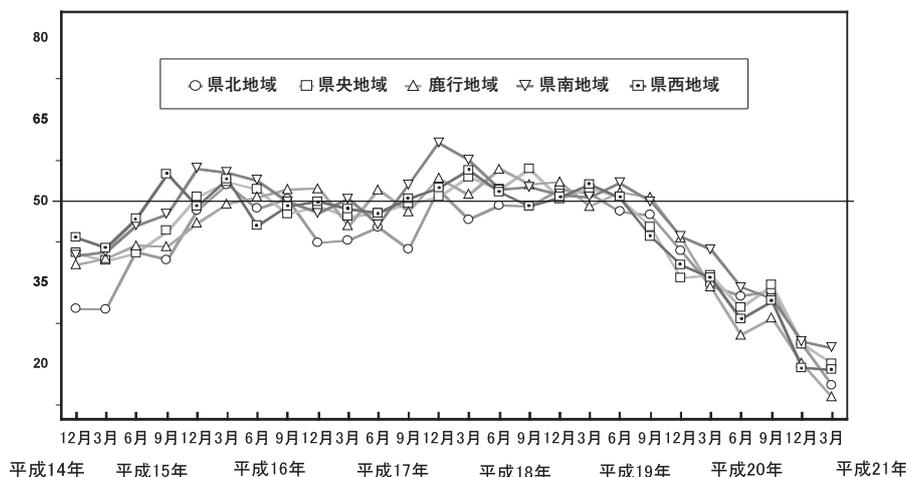
- ・ 値引きセール等を実施すると、少なからず売上げが伸びる効果があったが、最近では値下げしただけでは、売上げにつながらないケースが増えてきている。(コンビニエンスストア)
- ・ 例年であれば、3月には卒業生の就職状況はほぼ100%となるが、今年度は3名が就職先未定の状況であり、求人数は激減している。(学校就業関係者)

- (2) **先行き判断**：先行き判断DIは**31.8**となりました。前期比12.4ポイント上昇したものの、**横這い**を表す50を8期連続で下回りましたが、**先行き判断DIは全地域を通じて最高**となりました。

〈主な判断理由〉

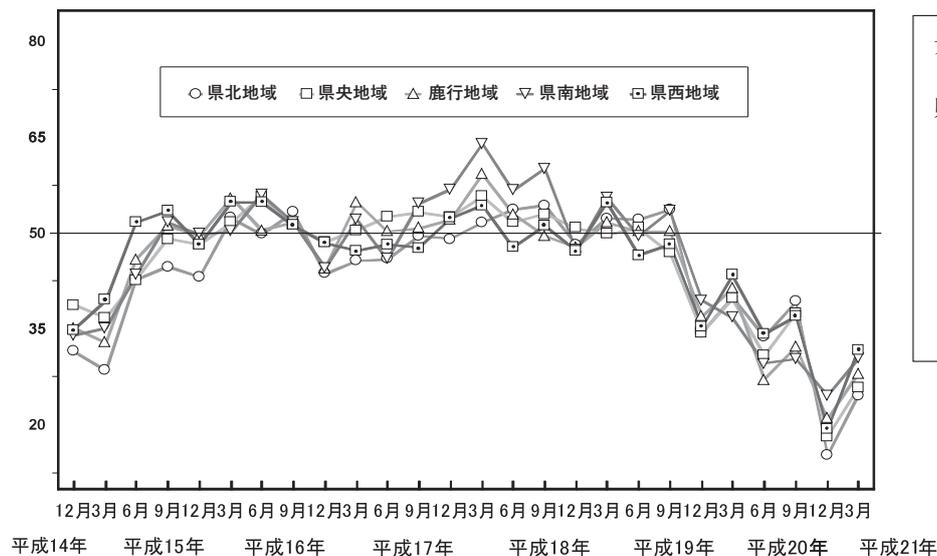
- ・ 4月以降、更に悪くなるであろうという話が周囲で出ている。銀行がなかなかお金を貸してくれなくなるのではないかと懸念している。(和食レストラン、割烹)
- ・ 悪くなることはあっても良くなる要素は見当たらない。というのも、毎日のようにテレビ、新聞等のマスコミでは「不況だ」「100年に1度の不景気だ…」と、マイナスの報道がなされているので、消費者が財布のヒモをきつく締めるのは当然である。(製造業〔窯業・土石製品〕)

### 地域別現状判断 DI の推移



景気現状判断DI  
【平成21年3月調査】  
県全体 18.5 (-3.8)  
県北地域 16.2 (-7.5)  
県央地域 20.1 (-3.6)  
鹿行地域 14.0 (-6.3)  
県南地域 23.2 (-1.0)  
県西地域 19.1 (-0.3)  
※( )は前回調査(平成20年12月)との比較をしたものです。

### 地域別先行き判断 DI の推移



景気先行き判断DI  
【平成21年3月調査】  
県全体 28.2 (+8.5)  
県北地域 24.6 (+9.3)  
県央地域 25.9 (+7.7)  
鹿行地域 28.1 (+7.0)  
県南地域 30.5 (+5.9)  
県西地域 31.8 (+12.4)  
※( )は前回調査(平成20年12月)との比較をしたものです。